

保育園留学

地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラム

株式会社 キッチハイク
代表取締役 山本 雅也

保育園留学とは

こどもは地域の保育園に通えて、
親はテレワークしながら、
家族で1~2週間暮らせる地域体験プログラム。



地域と子育て家族をつなぎ、こども・家族・地域の未来をつくる

こどもの未来

のびのび
すこやかに



都市部にはない大自然のなかで
幼少期に刺激的な環境に触れ
心身ともに健やかに育てる

家族の未来

仕事も
子育ても両立



テレワークで仕事をしながら
こどもにのびのびした環境を提供
豊かな子育ての選択ができる

過疎地域の未来

超長期的な
関係人口の創出



保育園・宿など既存資産を活かし
子育て家族との
超長期的な関係性をつくる

留学家族の声



留学家族の声



無限にまっすぐ走れそうな環境がいいなと思って
I thought it would be nice to have an environment where kids can run endlessly.

留学家族の声



やっぱり普段と遊び方が違う
Their routine is completely different,

留学家族の声



大自然の保育園っていいなって思いました
and I thought a preschool in the great outdoors would be wonderful.

保育士の声



この厚沢部町という小さな田舎町にしながら
Even in this small rural town of Assabu,

保育士の声



彼ら彼女らは世界を感じられるんです
the children can experience the world.

保育士の声



保育士の声



保育園留学ってすごくなって感じています
and preschools can have this experience.

保育園留学が生まれた背景

背景1：子育て家族当事者の目線

都市部での子育てが
難しい原体験。
自身の留学体験から事業へ。

2021年夏冬、北海道檜山郡厚沢部町へ
第0号として保育園留学し、事業化。

厚沢部町と認定こども園「はぜる」に
感動し、2022年5月、厚沢部町へ移住。



背景2：地域側の目線

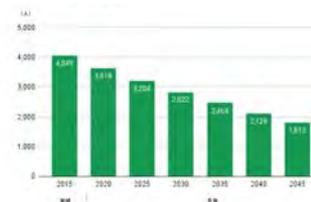
北海道 厚沢部町
人口3500人の過疎の町。
こども園も園児不足が課題。

人口減少・若者の流出により、
さらに過疎が進む悪循環に。

すばらしい環境を持つ認定こども園も、
こどもが減少し、稼働率が減少していた。



北海道厚沢部町の人口推移



認定こども園はぜるの稼働率

約75%

定員120名、在園児約90名

背景3：自社(キッチンハイク)の働き方

北海道から沖縄まで 全国フルリモートの 働き方を全社で推奨

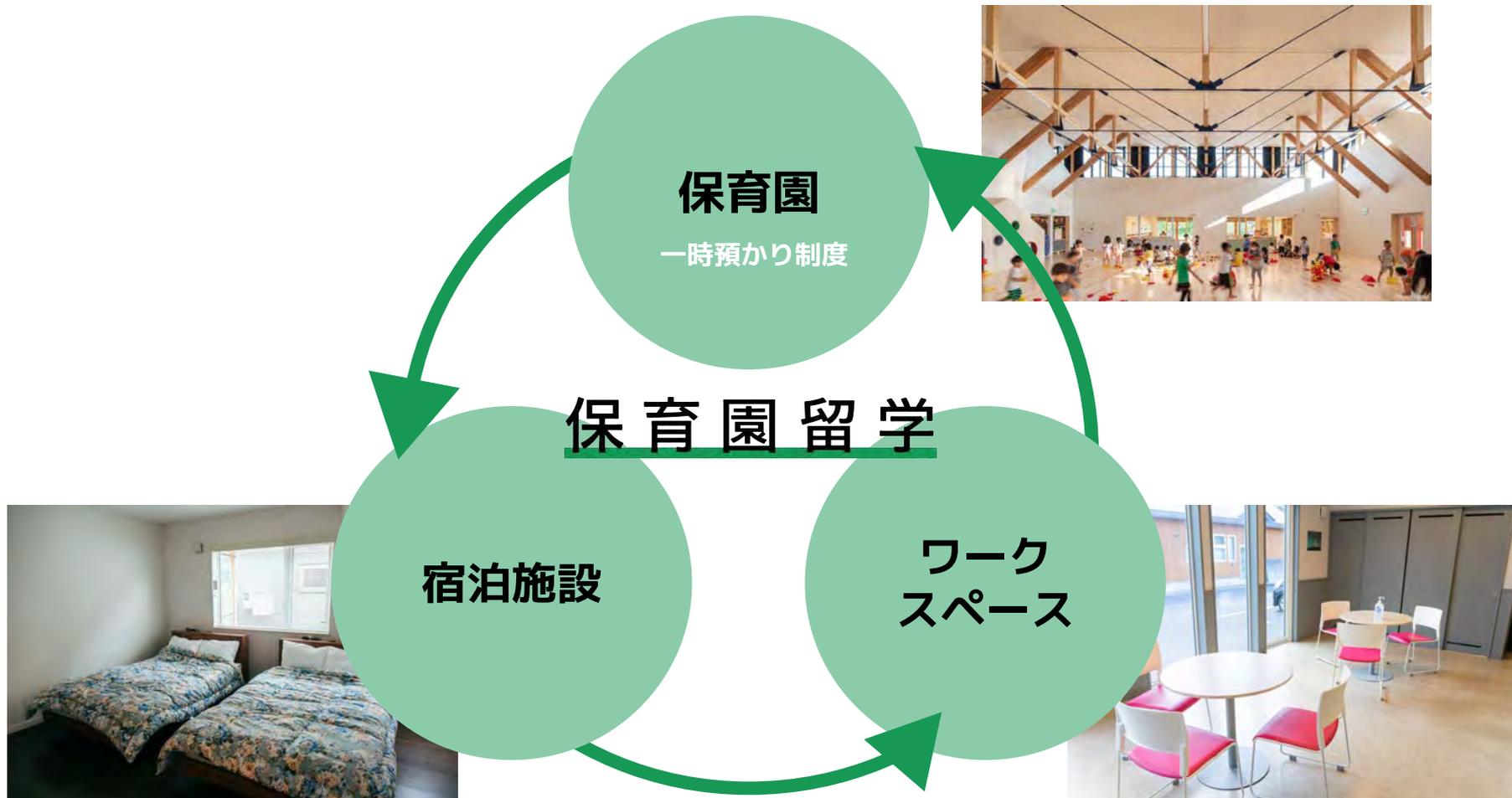
社員が全国でテレワーク・移住をしながら
地域暮らしの当事者として
地域創生事業を運営。



仕組み

既存の地域資源を活用して、新たに子育て世帯の流入を増やす仕組み

既存の保育園、お試し移住施設、テレワーク施設を組み合わせ、1～2週間の地域滞在プログラムに。



実績

北海道厚沢部町 保育園留学 - 反響

留学家族数

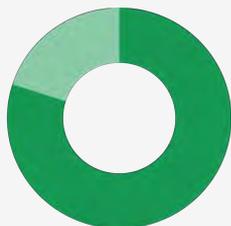
人口3,500人の
過疎地域に、年間

150家族



留学後リピート希望率

95%



1年で3回リピートする家族も

地域への経済効果

滞在中の平均支出

20~40万円



1/3週間 3人家族
ガソリン代等 含む

厚沢部町が「第2のふるさと」となり、
幼少期からの「超長期的な関係人口」に

初めて通う園のお友達と仲良くできるか心配でしたが、初日のお迎えで

『もう迎えに来たの？もっと遊びたい！』と子どもに言われて驚きました。

最終日も、『これからもここに通う！』とっていました。(体験者)



私たち夫婦は地元に戻っても、もう親戚がいはいんです。でも、子どもには、祖父母の家で、虫取りや川遊びをするといった経験もしてもらいたかった。第2のふるさとを探していたとき、保育園留学を通じて厚沢部町と出会いました。前は1週間でしたが、次は2週間滞在したいです。(体験者)



子どもを安心して預けられるワーケーションというのが、働き方改革の中でニーズにマッチしている様子。来年また来よう、の積み重ねで移住に結びつけばすごく良い。(自治体職員)



ユーザー層とニーズ

子どもに都会ではできない特別な体験をさせてあげたい、
教育に関心の高い都市圏のファミリー世帯が中心

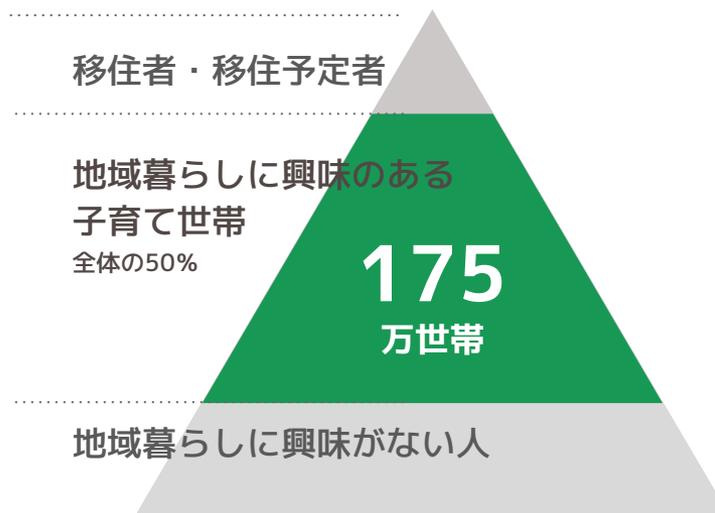
留学世帯の平均データ

- ・ 親世代は30～40代
- ・ 都市圏在住
東京都（港区、目黒区、渋谷区など）、
大阪、札幌、広島
- ・ 滞在人数 2.8名（2名～5名）
- ・ 滞在日数 12.3日（1週間～3週間）
- ・ 使った金額 25万円（保育園留学利用料）
12万円（滞在時の生活費）



潜在ニーズ

都市の移住潜在層



地方暮らしに興味がある人は50%
<https://www.chisou.go.jp/iikamo/column/column01.html>
 首都圏別子育て世帯数 <https://todo-ran.com/t/kiji/13533>

保育園留学 実施地域

あっさぶ

北海道厚沢部町を皮切りに、全国に広がっています

令和5年度までのオープン

約 **35** 拠点



北海道 厚沢部町

2021年12月～



新潟県 南魚沼市

2022年9月～



熊本県 天草市

2022年9月～



岐阜県 美濃市

2022年10月～



富山県 富山市

2023年2月～



長野県 上田市

2023年2月～



島根県 大田市

2023年3月～



石川県 能登半島

2023年3月～

and more...

お問い合わせ先

株式会社キッチンハイク 地域ソリューションチーム

フォーム：<https://kitchhike.jp/contact>

Mail：partners@kitchhike.com

ガバメント・コミュニティオフィス

「食と暮らしの地方創生室」

東京・上野の本社を地域関係者向けに開放しています。

東京にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

<https://kitchhike.jp/gco>

